こっこめ通信 11 2001

八丈島ではアカコッコの事を親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「なぜにして八丈島？」号

八丈島には、紅葉がなくちょっと寂しい秋ですが、いろいろな植物の実が実り始め、赤や紫といった色が目立ち始めてきました。秋の花、「イソギク」や「ツワブキ」の黄色い花も咲き始めています。冬鳥も飛来し始め、マガンや黄色いマヒワの群、チョウゲンボウなどいろいろな鳥が確認されています。

今月は、行事の報告と島の名前について調べてみました。

秋のプログラム「道草ハイク」

10月21日、秋の特別プログラム「道草ハイク」が行われました。心配された天気もどうにか持ちこたえ、無事に終了することが出来ました。今回は、島に住む大嶽 隆さんを講師に招き、何気なく歩いてしまえば、すぐに歩けてしまうコースを道草をしながら楽しんだり、また住んでしまうと気づかない八丈島の良さを見つめ直すというプログラムです。途中、ゲームあり、創作あり、楽しいお話あり、バードウォッチングあり、ビーチコーミングありといろいろなことが体験できました。参加者の方々も、住み慣れた八丈を満喫されたようです。

まずは参加した人の自己紹介もかねて「擬音探し」、題材に選んだ「フワフワ」や「チクチク」のイメージのものを自然の中から探し出す！みなさん苦労しながらもいろいろなものを探し出していました。

また途中では、大嶽さんが出したカードと同じ色のものをグループに分かれ歩きながら協力して探す「自然と色合わせ」が行われ（写真左）、何気なく見ていた自然の色や緑色の多さに参加者はビックリしていました。大嶽さん曰く、「地球は宇宙から見ると青く、空や海の青いのに自然の中には青色が少ないんです。」

底土海岸では、先日通過した台風の影響で打ち上げられた、たくさんの漂着物を見て回りました。中にはナメモンガラやハリセンボンなど魚の漂着物もありました。（写真右）

そして最後は、海岸でみんなの感じるままに創作する「創作アート」。漂着物を使う人、砂を利用する人、石を使う人など、それぞれに思ったものを作っていました。埋まっていた石をカメに見立てた「海亀」は、みんなをアッと驚かせていました。（写真中央）

大人も童心に戻って、子供たちといっしょに楽しんでくれたようでした。

八丈島の島名由来

八丈島は、昔からいろいろな名前で呼ばれていました。自然に由来した「沖島」、「八嶽島」や人に関する「女護島」、「八郎島」、また産業に関する「綜嶼」、「八丈島」です。それぞれの島名には、いろいろな言われがあり、島の歴史を知る上でとても興味深いものがあります。

島をシマ、ジマと二通りの呼び方をする場合もあるかもしれません。

自然に関する島名

沖ノ島・・・島が国地を去る遙か南東海上にあり、伊豆諸島中もっとも奥にある島、すなわち沖にある島という意味から呼ばれていたと思われる呼び名。または、沖島とも呼ばれていたようです。
オキノシマ

八嶽島・・・南方海島志では八丈島の一名をヤタケ島と呼ぶと書かれ、ヤは八の事で伊豆諸島で八番目に開けた島を物語り、タケは嶽で画数が多く丈の字を当てタケと読ませ、八丈と書き換えたのだろうとしています。また、三原山は外輪山がいくつもの嶺に分かれ、あたかも八岳が集まって見えるところからついたとの説もあるようです。
ヤタケジマ

人に関する島名

女護が島・・島には女護が島伝説があり、八丈島には女性が、青ケ島には男性が住み、一年に一度南風の吹く日に、男たちが八丈島に渡って来て夫婦の契りを結んだという。そして男の子が産まれると青ヶ島へ、女の子が産まれると島に残したという。この伝説は滝沢馬琴の「椿説弓張月」でさらに知られるようになりました。または、女国、女子郷、女人島とも呼ばれていたようです。
ニョゴガシマ

八郎島・・・八丈島の歴史に於いて、数多の奇跡を残した鎮西八郎為朝にちなんで島の人が呼ぶようになったという説があるようです。八郎は島の方言で「ハッチョウ」と呼ぶのでこのハッチョウ島が八丈島に変わったという説もあります。鎮西八郎為朝とは保元の乱に敗れた源為朝のことで、大島に流されたあと自刃したと歴史は伝えています。しかし八丈島にはこの為朝の伝説がたくさんあり、最後は八丈小島で自刃したとされています。
ハチロウジマ

産業に関する島名

綜嶼・・・・綜嶼の綜は糸のことで、嶼は小島のことです。八丈島は昔から絹の産地として知られているので、この産物にちなんでつけられた名前のようです。八丈実記の中で、近藤富蔵は島には山しまと平しまとあるが、嶼は平しまのことで綜嶼と呼ばれていた頃は八丈富士がまだ湧出しない頃であろうと言っています。
イトシマ

八丈島・・・絹織物単位は一疋（二反）の長さであり、この長さが八丈なので、八丈の絹を出す島として八丈島という。しかし八丈絹は八丈島特産ではなく、全国一般の絹織物の名称だったので、黄八丈として有名な島だから黄八丈島、そして八丈島になったという説が正しいかもしれません。
ハチジョウジマ

参考資料

八丈島誌 ・・・・・・・・八丈町役場
八丈島の方言辞典 ・・・・・・・・浅沼 良次
三宅島史考 ・・・・・・・・廣瀬 進吾

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは毎月第二日曜日に八丈植物公園季節調査会を開催しています。この行事は、植物公園内の生き物で季節を感じようという趣旨です。毎回、見られる植物がどのように変化していくのか、またどんな鳥や昆虫が見られるか観察しています。
前回は 10 月 14 日に観察会を行いました。下の表が調査記録です。

八丈植物公園季節調査　　（平成13年第7回）

平成13年10月14日（日）　13時30分～15時

参加者・青柳、伊藤、落合、山入端、村上、菊池、V.C.菊池

NO.	和名　（島名）	状態	NO.	和名　（島名）	状態
	草　本			シダ植物	
1	ヒナギキョウ	蕾、花、種	1	イタチシダ	
2	カタバミ	花、種	2	オオタニワタリ	
3	コミカンソウ	種	3	ハチジョウカナワラビ	
4	ザクロソウ	花	4	タマシダ	
5	ツユクサ	花	5	オニヤブソテツ	
6	ハチジョウアザミ	花、種	6	ホシダ	
7	アオノクマタケラン	未熟果実	7	ヒトツバ	
8	チヂミザサ	花	8	マツバラン	
9	エダウチチヂミザサ	花	9	カニクサ	
10	アシタバ	花、種	10	タチシノブ	
11	ハイメドハギ	花	11	イシカグマ	
12	ウスベニニガナ	花、種	12	ハチジョウシダ	
13	イヌタデ	花	13	ナチシケシダ	
14	チチコグサ	花、種	14	ヘゴ	
15	コニシキソウ	花			
16	ウリクサ	花			
17	ツルマオ	花			
18	オニタビラコ	花、種			
19	イワニガナ	花、種			
20	カヤツリグサ	花			
21	アシボソ	花		木本	
22	ヘクソカズラ	実	1	ホルトノキ	未熟果実
23	アオツヅラフジ	未熟果実	2	ヒメユズリハ	未熟果実
24	ススキ	種	3	シマクサギ	果実
25	ヤクシソウ	花	4	イヌビワ	果実
26	ベニバナボロギク	花	5	マサキ	未熟果実
27	タケダグサ	花	6	シチトウタラノキ	花
28	ノコンギク	花	7	モチノキ	果実
29	アメリカセンダングサ	花	8	オオムラサキシキブ	果実
30	ヒメジソ	花、種	9	カラスザンショウ	未熟果実
31	イヌホオズキ	花、未熟果実			
32	ヒナタイノコヅチ	種			
33	ブクリョウサイ	花			
34	イガガヤツリ	花			
35	アキノノゲシ	花、種			
36	カラムシ	種			
37	コマツヨイグサ	花、種			
38	セイタカアワダチソウ	花			
				今回は61種を観察しました。	
				次回調査は11月11日（日）です。	

※ビジターセンターでは八丈植物公園の季節変化の公開調査を月1回程度行なっています。
興味のある人は窓口でお問い合わせください。
植物の名前をこれから覚えたいと思っている人など大歓迎。

八丈島では、内地とは少し様変わりした種や独自に進化した種など聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、植物公園内では見られないですが「ハチジョウカグマ」にスポットを当ててみたいと思います。

ハチジョウカグマ　*Woodwardia orientalis* var. *formosana*

崖や斜面に生える大型の常緑性のシダです。コモチシダの変種。コモチシダとの識別点は、葉にツヤがあること、新芽が赤いことです。コモチシダの名は、葉の表面からたくさんの芽が付くところからきています。もちろんハチジョウカグマにも付きます。（写真右上）

2001 11 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。
左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
				○ 1 05：13 11：01 16：53 23：15	2 05：49 11：31 17：16 23：46	3 ガイドウォーク 06：28 12：01 17：40
4 ガイドウォーク 07：08 00：19 18：04 12：32	5 07：53 00：55 18：31 13：05	6 08：45 01：35 19：00 13：43	7 立冬 09：53 02：24 19：35 14：37	◑ 8 11：23 03：26 20：36 16：26	9 12：53 04：49 23：13 19：03	10 ガイドウォーク 13：50 06：21 20：08
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 01：23 07：40 14：30 20：49	12 02：41 08：40 15：03 21：25	13 03：40 09：40 15：33 22：00	14 04：32 10：12 16：02 22：35	● 15 05：19 10：51 16：30 23：09	16 06：04 11：26 16：58 23：44	17 ガイドウォーク 特別イベント 情報化時代の魚類学 06：47 12：01 17：26
18 ガイドウォーク 07：29 00：19 17：54 12：34	19 08：10 00：54 18：24 13：08	20 08：53 01：30 18：54 13：46	21 09：41 02：09 19：27 14：34	22 小雪 10：40 02：54 20：09 15：49	◐ 23 ガイドウォーク 11：51 03：49 21：38 17：51	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「ビーチコーミング」 12：56 05：03 19：30
25 ガイドウォーク 00：18 06：30 13：43 20：16	26 01：59 07：43 14：18 20：50	27 02：59 08：38 14：49 21：20	28 03：46 09：23 15：18 21：50	29 04：27 10：01 15：46 22：21	30 05：07 10：37 16：14 22：54	

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じよう。 11／11 （13：30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
情報化時代の魚類学 「インターネットとデータベース」	国立科学博物館の松浦啓一氏による、インターネットで公開している魚類データベースについての講演。 11／17 （19：30～ 約1時間半） だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員：60名
八丈学講座 「ビーチコーミング」	八丈島をもっとよく知るための講座。今回は「ビーチコーミング」です。 11／24 （13：30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ 八丈・四季・人・自然
14：00～ 八丈・四季・人・自然
15：00～ 八丈・四季・人・自然
16：00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2001.11.1 第6号
開館時間 9：00～16：30 年中無休（無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888